本大会は旧ルール（2022）を適用する。

令和５年　１１月１１日（土）
沖縄県立武道館

令和５年度　第２６回沖縄県中学生新人空手道競技大会
〈　監督・審判会議資料　〉

１、形競技　≪２種類の形を必要とする≫

（１）使用できる形は以下のとおりとする。

ラウンド	使用できる形	備考
予選	第１指定形　または　第２指定形	８名が決勝進出 形名の申告なし
決勝	得意形 （予選で使用した形は使えない）	メダルマッチではない コートテーブルに各自で口頭申告

（２）次の場合は教育的な配慮から「違反」ではなく、「最低点（5.0）」とする。
①　異なる形を演武した場合、または異なる形を告げた場合。
②　形演武開始の礼、および終了の礼をしなかった場合。
③　明らかに技が中断または停止した場合。
④　審判妨害（安全性のため審判が動かざるを得なかった場合、審判に接触した場合等）
⑤　演武中に帯が落ちた場合。
⑥　主審の指示に従わなかった場合、品行が悪かった場合。
⑦　基本形、および指定形で大きな変化があった場合。

（３）次の場合は「減点」の要素として考慮する。

内　容	わずか、又は１回	大きい、又は複数回
a)　バランスを崩した場合。	0.2	0.4
b)　不正確な動き、又は不十分な作法（礼も含む）、不十分なブロックや突き。	0.4	0.6
c)　非同時性の動き（個人競技－体の移動が終わる前に技を出すなど） 〃　（団体競技－動作が一致していないことなど）	0.4 0.8	0.6 1.0
d)　足をならしたり、胸や腕または空手着を叩いたり、無闇に息を吐きだすなど、聞こえるような音で合図をすること。	0.8	1.0
e)　演武中に帯がゆるみ、臀部まで下がった場合。	0.2	0.4
f)　時間の浪費、過度の礼（２回以上）、演武を開始するまでに時間を取り過ぎた場合。（３秒以上の間）	0.2	0.4
g)　基本形、および指定形で変化があった場合。	0.8	1.2

（４）入退場について
①　コート後方から入る。
②　演武終了後は、まっすぐ後ろに下がってコートの外に出る。
③　得点の発表はしない。ホワイトボードで得点を公表する。
④　礼は「演武開始前後の２回」のみ。

（５）同点の場合、「形競技第５条」（2022.4.1 発出）に準じて解消する。

ステップ１	技術面点の比較	７０％をかける前の得点で、最も高いほうが勝者となる
ステップ２	競技面点の比較	３０％を掛ける前の得点で、最も高い方が勝者となる
ステップ３	技術面点の比較	除外されていない最低点の最も高いほうが勝者となる
ステップ４	技術面点の比較	除外されていない最高点の最も高いほうが勝者となる
ステップ５	競技面点の比較	除外されていない最低点の最も高いほうが勝者となる
ステップ６	競技面点の比較	除外されていない最高点の最も高いほうが勝者となる
ステップ７	技術面点の比較	除外された最低点の中で、最も高いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ８	技術面点の比較	除外された最高点の中で、最も低いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ９	技術面点の比較	除外された最低点の中で、最も低いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ 10	競技面点の比較	除外された最低点の中で、最も高いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ 11	競技面点の比較	除外された最高点の中で、最も低いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ 12	競技面点の比較	除外された最低点の中で、最も低いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ 13	技術面点の比較	除外された最高点の中で、最も高いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ 14	競技面点の比較	除外された最高点の中で、最も高いほうを比較し高いほうが勝者となる
ステップ 15	再演武を行う。演武する形は**本戦と同じ形でもよい**	

※　県内の中学生大会ではステップ 15 を上のとおりに変更する。

２、組手競技

	個人	団体
１回戦～	４ポイント差（１分間）	４ポイント差（１分間）
準々決勝～	**６ポイント差（１分間）**	

（１）団体戦はチームの勝敗が決定次第、試合を終了。
※１，２回戦は大将戦まで行う
（２）倒したまたは、倒れた相手への蹴りによる攻撃は可とする。（県連主催大会の場合）
（３）10 カウントルールを適用する。（2022 年度から中体連大会でも適用）
（４）団体戦はフリーオーダーとする。ただし、双方のチームが 2 名の場合は、先詰めとする。
（５）オーダー票は各自で準備すること。※HP からダウンロードし印刷・持参する
（６）個人戦は３位決定戦を行うが、団体戦は３位決定戦を行わない。

３、その他
（１）選手の服装は全空連競技規定に準じ、頭髪等は大会参加にふさわしいものとする。
（２）試合開始時に選手名を「３回」呼ばれても姿を現さない場合は棄権とする。

（３）入賞者（３位以内）は表彰式に参加すること。形競技の表彰は昼休みに行い、組手競技の表彰は閉会式で行う。

（４）「全国中学生空手道選抜大会」の出場権を獲得した選手は、監督会議で配布された派遣資料を熟読し、所定の期日までに申し込みをすること。なお、**全国大会の出場を辞退する場合は、必ず大会当日中に本部まで連絡すること。**